

## 第 1 号議案

一色小学校区元気なコミュニティ協議会  
令和 7 年度 事業（活動）報告

## ■ 総括

・ゲンコミの発足 4 年目に当たる令和 7 年度は事業面で大きな前進があった。事業規模は初年度比で倍増、国交省助成を差し引いた前年度比でも倍の約 240 万円になった。最大の要因は一昨年秋から本格稼働した県営二宮なのはなハイツコミュニティルーム（CR）の運営が軌道に乗り、年間約 115 万円を稼ぐ事業に育ってきたためである。同事業の月間利用は 60 件ほどに増え、貸室、自主イベント収入は前年度比 4 倍に伸びた。健康づくり、音楽、生涯教育分野を中心にした CR の利用拡大は地域住民にも歓迎され、財務基盤を含めたゲンコミの自主自立が視野の中に入ってきた。

・音楽活動、生涯教育など発足以来の部会事業も健闘しているが、事業拡大の余地はさほど大きくはない。そんな中でシニア向けのスマホ教育、AI 講座などの新たな地域ニーズの高まりにも対応しつつある。これにまだ伸び代がある CR 事業を加え、並行して組織人員の拡充と若返り、管理運営のデジタル化を推進することによって、「自主自立の事業態勢確立」にめどをつける必要がある。

## ■ 協議会全体の活動報告

分類	活動内容
役員総会	4/24 第 1 回を開催し前年度の事業報告及び決算報告、今年度の事業計画、収支予算、及び役員人事などを審議した。
部会長会	令和 7 年度の活動を推進するため以下のとおり部会長会を開催した。 10/28 年度中間時期として、各部会の活動状況・予算遂行状況の確認を行った。 1/25 役員総会に向けての準備確認、各部会の活動状況・予算遂行状況の確認を行った。 3/14 役員総会に向けての事業報告、事業計画について協議した。 4/04 同上 地域課題であるバス減便について状況把握・取り組みについて協議し、2 月末には関係団体と協力して二宮町および神奈川中央交通に対し申入れを行った。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局として係わる協議会の日常運営に関すること、及び役員総会・部会長会の段取り等について適宜対応した。</li> <li>・経理作業を軽減するため、以下の施策を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①共有フォルダによる文書共有</li> <li>②消耗品（プリンタインク、用紙、ポリ袋等）をクレカ決済し、現金精算を削減</li> <li>③印刷経費削減・手間削減のためにチラシを外部印刷（ネット印刷）に切り替え</li> </ul> </li> <li>・公式 LINE を開設し、PR に活用した。PR のために名刺を作成、配布した。</li> <li>・活動拠点である CR に SCN（湘南ケーブルネットワーク）のインターネット回線を引き込み、WiFi 提供による利用者の利便を図るとともに、クラウドサービスを利用した情報共有を推進中である。</li> </ul>
古紙回収	前年度同様に子ども会と折半にて実施した。 今年度のゲンコミ収益分は 52,255 円（昨年度は 67,560 円、昨年度比 23%減）。

■各部会の事業（活動）報告

部会名	事業（活動）内容
音楽活動部会	<p>やまゆり里山音楽祭：10/11開催、入場者数 約400名 チケット販売453枚（収入223,050円）</p> <p>令和の歌声喫茶：12回開催、延べ371人参加</p> <p>やまゆり合唱団：</p> <p>11/2 町合唱祭 出演</p> <p>1/21 県立音楽堂 出演（バス利用）</p> <p>緑が丘秋祭り(10/12)、百合が丘秋祭り(10/25)は屋外のため出演辞退</p>
生涯学習部会	<p>連続講座の開催回数は21回（3回は天候・講師都合により中止）。</p> <p>来場者数は674名であった。1回/30名。</p> <p>年度途中から取り上げた「生成 AI 講座」が好評のため、後半から毎月開催に切り替え、参加者の安定確保につなげた。</p>
デジタル部会	<p>①部会の活動範囲を広げるために新規部会員の募集を実施。3名の応募があり、7名体制とすることができた。</p> <p>②2か月に1回定例会を開催し、情報共有・活動担当の分担協議などを行った。情報共有には、グループLINEも活用した。</p> <p>③昨年度に引き続きゆめクラブからの講師派遣を受託、2回・4名派遣を行った。</p> <p>④百合が丘地区社協から講師派遣を受託、5回・10名の派遣を行った。</p> <p>⑤百合が丘地区社協のスマホ教室と同様の事業を、町の他地区に展開するため、町社協へのプレゼンを2回実施した。現在のところ引き合いはない。</p> <p>⑥10月から無料のスマホ相談会を月2回、計11回（2/9は大雪のため中止）実施。延べ43名（実推）の方に来場いただき、スマホの疑問解決を支援できた。</p> <p>ニーズが確認できたため、4月以降は有料で継続する。</p>
健康団地 CR 部会	<p>1) 貸室事業</p> <p>地域団体、サークル向け貸室事業は年度を通じて順調に伸び、年度末には自主企画分を含めた月間利用は60件近くになった。新スペースとしての認知度アップ、年間予約の受け入れ、器材・空間の新しさ、駐車台数の多さなどが徐々に評価されて来た感じがある。一般利用では、音楽系と体操系サークルの伸びが目立つ。この結果、自主企画分を含めた部会収入は115万円と前年比で倍増に。ただ、予約キャンセル・予定変更などへの対応、車止めの開鍵などで利用団体に迷惑をかけるケースが起きており、さらなる態勢整備が必要になっている。</p> <p>2) 自主企画イベント</p> <p>神奈川県健康団地構想に沿って、「うたと体操で元気」、「なのはな健康体操」、「歩き方講座」、「ラジオ体操」を上半期から、「なのはなヨガ教室」、「チェアダンス」を下半期から次々とスタートさせた。これらの自主企画イベントの参加者は年間834名、収入も約46万円に達した。ただその中には参加者が安定している講座と低迷している講座があり、引き続きの尽力が求められる。</p> <p>3) 健康コモンズまつり</p> <p>CRの知名度アップを狙った健康コモンズまつりを5月18日（日）に開催した。「歩き方講座」や「ラジオ体操」などは、これを機に自主企画に発展した。しかし、開催日程が町</p>

主催のイベントと重なったことなどから来場者が期待ほど伸びず、次年度に向けての課題として残った。

#### 4) 移動支援事業

百合が丘地区社協部会と連携して買い物、通いの場参加支援の方策を検討した。買い物支援に関しては、社会福祉法人寿考会の協力が得られることになり、2、3月に各1回の試行運送を行った。来年度からは月2回ペースで実施する。通いの場参加の方は、検討したものの実施できていない。

#### 5) 宝くじコミュニティ助成事業に採択

年度当初に、なのはなハイツ自治会と連携して申請していた一般社団自治総合センターのコミュニティ助成金（宝くじ助成）の採択が決定、音響機器など総額250万円の活動備品が一気に拡充された。中身は音響機器、テント、物置、カーテンなど広範に及び、今後とも当部会の活動を下支えする見込み。なお、これらの機材・備品の所有権はなのはなハイツ自治会に属し、健康団地CR部会が優先使用权を持つ。